

(参考様式 4 - 1)

伊勢市地区活性化計画 改善計画書

平成 26 年 8 月 25 日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
三重県	伊勢市	伊勢市地区	H21～H25	H21～H25
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
農業用排水施設	農業用排水路 L=4,280m		伊勢市	
防災安全施設	防火水槽 N=2ヶ所		伊勢市	
農業集落道	農業集落道 L=2,160m		伊勢市	
自然環境保全・活用施設	ため池護岸 L=130m		伊勢市	

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B/A	備考
定住人口の確保	0.01 ポイント	-3.84 ポイント	-38,400	転出入割合

2 目標が達成されなかった要因

定住人口の確保については、計画期間前の転出入割合 98.17%に対し、計画期間内の転出入割合の目標値を 0.01 ポイント増の 98.18%としていた。

本活性化計画に基づき、農業用排水施設及び農業集落道等の整備を進め、農作物を安定的に供給する農業が営まれる地域づくりに努めた結果、計画期間内において転出人口は、目標値の 30,223 人から 6,774 人減の 23,449 人と大きく抑制された。しかし、転入人口は、職業上や結婚等の要因により目標値の 29,674 人から 7,555 人減の 22,119 人と大きく減少したことにより、転出入割合は 3.84%減少し 94.33%となった。

伊勢市全域においても近年の少子化や生活環境の利便性を求めた都市部への転出などによる人口減少は続いており、市全域の転出入割合が計画期間内で 92.68%から 91.53%と 1.15%減少している。なお、計画区域内の転出入割合は 96.15%から 92.94%と 3.21%減少したが、市全域より高い転出入割合となっており、事業の一定の効果は確認されたものの、人口減少の大きな影響を受け目標を達成できなかった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度	平成 30 年度
事業の推進体制	伊勢市及び地元関係団体
具体的取組方策	【目標修正】 最新の伊勢市の人口推計から達成年度の人口減少の予測値を用いる。この数値を基に改善計画期間の平成 26 年度から平成 30 年度の転出入割合を推測すると(転入:20,660 人)÷(転出:25,466 人)=81.13%と予想されるが、本活性化計画の事業効果により計画期間内における計画区域内の人口減少率が、市全域の人口減少率より抑制できているため、事業効果の継続を目指し、その減少率の差を考慮した人口減少の予測値を用

い、改善計画期間内の転出入割合を（転入：20,803人）÷（転出：25,136人）＝82.76％に設定する。
 このことから、改善計画期間前5年間の転出入割合の実績値94.33％を基準に、改善計画期間内の予測値を82.76％とし、目標を-11.57％とする。

【改善計画目標】

項目 定住人口の確保（転出入割合）					
当初計画	年 度	転 入	転 出	転出入割合	増加率
	H15～H19	29,891	30,447	98.17%	-
	H21～H25(目標)	29,674	30,223	98.18%	0.01%(A)
実績	H21～H25	22,119	23,449	94.33%	-3.84%(B)
				達成率(B/A)	-38,400%

項目 定住人口の確保（転出入割合） (H21～H25 転出入割合 94.33%)					
改善計画	年 度	転 入	転 出	転出入割合	増加率
	H26～H30(推定)	20,660	25,466	81.13%	-
	H26～H30(目標)	20,803	25,136	82.76%	-11.57%(A)
実績	H26～H30				(B)
				達成率(B/A)	

【取組方策】
 本活性化計画の事業効果を継続するため、伊勢市において、更に農業用排水施設及び農業集落道等の整備、農業の担い手不足や離農傾向を解消するための事業を推進するとともに、地元団体が中心となり実施する事業を促進することで、当初目標である農作物を安定的に供給する農業が営まれる地域づくりを目指す。

4 改善計画に対する第三者の意見

(コメント)

改善計画の目標設定については、伊勢市の人口が減少基調にある中で当初の目標値を進めることは極めて困難であると言わざるを得ず、目標値の修正はやむを得ないと思われる。

改善計画書のとおり引き続き事業を実施し、ソフト事業などと連携していくことで、人口減少に歯止めをかけることに繋がるのではないかとと思われる。

(農業委員会)